



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 日本化薬株式会社

コード番号 4272 URL <http://www.nipponkavaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 萬代 晃

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ経理本部経理部長 (氏名) 下山 政行

TEL 03-3237-5270

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	77,988	—	11,881	—	12,979	—	8,413	—
25年3月期第2四半期	73,274	△0.2	10,751	7.4	11,718	17.5	7,149	31.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 11,757百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 7,208百万円 (67.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	46.42	46.41
25年3月期第2四半期	39.44	39.38

当社は、平成25年3月期より連結決算日を5月31日から3月31日に変更いたしました。これに伴い、当第2四半期(平成25年4月1日から平成25年9月30日)と、比較対象となる前第2四半期(平成24年6月1日から平成24年11月30日)の期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。(前第2四半期は、当社及び5月決算であった連結対象会社は平成24年6月1日から平成24年11月30日を、3月決算であった連結対象会社は平成24年4月1日から平成24年9月30日をそれぞれ連結対象期間としておりました。)

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	231,818		170,172		68.7	
25年3月期	224,705		160,454		66.9	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 159,297百万円 25年3月期 150,237百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	—	21,000	—	22,000	—	13,500	—	74.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

前連結会計年度は、決算期の変更により、平成24年6月1日から平成25年3月31日までの10ヶ月間となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	182,503,570 株	25年3月期	182,503,570 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,266,362 株	25年3月期	1,247,305 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	181,243,499 株	25年3月期2Q	181,280,312 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期 純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成26年3月期第2四半期	77,988	11,881	12,979	8,413	46.42
(参考) 前年同一期間 ※1	74,627	10,743	11,388	6,529	36.02
調整後増減率 ※1	4.5%	10.6%	14.0%	28.9%	28.9%
平成25年3月期第2四半期 ※2	73,274	10,751	11,718	7,149	39.44

(単位：百万円)

	機能化学品事業		医薬事業		セイフティシステムズ事業		その他	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
平成26年3月期 第2四半期	36,864	6,382	25,159	5,275	12,867	2,502	3,095	587
(参考) 前年同一期間 ※1	36,415	7,036	24,436	4,707	10,142	1,528	3,634	518
調整後増減率 ※1	1.2%	△9.3%	3.0%	12.1%	26.9%	63.7%	△14.8%	13.5%
平成25年3月期 第2四半期 ※2	34,531	6,051	24,879	5,470	9,962	1,488	3,901	605

※1 (参考) 前年同一期間は、当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日)に対応する前年の同一期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日)であります。

調整後増減率については、「前年同一期間」との比較で記載しております。

(前年同一期間において、当社及びすべての連結対象会社は平成24年4月1日から平成24年9月30日までを連結対象期間としております。)

※2 平成25年3月期第2四半期は、当社及び5月決算であった連結対象会社は平成24年6月1日から平成24年11月30日までを、3月決算であった連結対象会社は平成24年4月1日から平成24年9月30日までを、それぞれ連結対象期間としておりました。

以下、「前年同一期間」との比較で記載しております。

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の世界経済は、米国では緩やかな景気回復が続き、欧州では財政金融問題に懸念があるものの景気回復への兆しが見られました。中国および新興国では成長のペースが鈍化しました。日本経済は、欧米経済の持ち直しや政府の経済政策の影響により緩やかに回復しています。

このような状況の中、当社グループは本年度よりスタートさせました新中期事業計画“**Challenge100A!**”の成長シナリオと中長期重点課題に取り組み、重点事業への経営資源の最適配分、既存事業の用途拡大、海外展開の強化に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンを推進しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、機能化学品事業、医薬事業、セイフティシステムズ事業が前年同一期間を上回ったことにより、779億8千8百万円と前年同一期間に比べ33億6千万円(4.5%)増加しました。

営業利益は、売上高の増加と原価率の改善により、118億8千1百万円と前年同一期間に比べ11億3千8百万円(10.6%)増加しました。

経常利益は、円安による為替差益などにより、129億7千9百万円と前年同一期間に比べ15億9千万円(14.0%)増加しました。

四半期純利益は、84億1千3百万円と前年同一期間に比べ18億8千4百万円(28.9%)増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### 【機能化学品事業】

売上高は368億6千4百万円と前年同一期間に比べ4億4千9百万円（1.2%）増加しました。

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂が前年同一期間を上回りましたが、紫外線硬化型樹脂、フィルム関連製品は前年同一期間を下回りました。機能性材料事業全体では前年同一期間を下回りました。

デジタル印刷材料事業は、インクジェットプリンタ用色素がコンシューマー用途は停滞しましたが産業用途が伸長したため前年同一期間を上回りました。感熱顕色剤が前年同一期間を下回りました。デジタル印刷材料事業全体では前年同一期間を上回りました。

色材事業は、国内向け繊維用染料が低迷し前年同一期間を下回りましたが、中国を中心とした海外向けが伸長したため前年同一期間を上回りました。

触媒事業は、顧客の触媒交換時期の谷間であったため前年同一期間を下回りました。

ポラテクノグループは、温度追従型楕円偏光板及び無機偏光板が伸長したため前年同期を上回りました。

セグメント利益は63億8千2百万円となり、前年同一期間に比べ6億5千3百万円（9.3%）減少しました。

#### 【医薬事業】

売上高は251億5千9百万円と前年同一期間に比べ7億2千3百万円（3.0%）増加しました。

国内向け製剤は、「カルボプラチン点滴静注液NK」「パクリタキセル注NK」「ピカルタミド錠NK」などの抗がん薬が伸長し前年同一期間を上回りました。「エキセメスタン錠NK」（抗がん薬）「グラニセトロンNK」（制吐剤）は前年同一期間を下回りました。7月より販売移管を受けた「イムノブラダー膀胱注用」（抗がん薬）や昨年12月に発売した「アナストロゾール錠NK」（抗がん薬）も売り上げに寄与し、国内向け製剤全体では前年同一期間を上回りました。

輸出は、ブレオ類（抗がん薬）が前年同一期間を上回りましたが、輸出用原薬が前年同一期間を下回りました。輸出全体では前年同一期間を下回りました。

国内向け原薬は、醗酵品原料は前年同一期間を上回りましたが、医薬品原料が前年同一期間を下回りました。国内向け原薬全体では前年同一期間を下回りました。

診断薬は、前年同一期間を上回りました。

セグメント利益は52億7千5百万円となり、前年同一期間に比べ5億6千7百万円（12.1%）増加しました。

#### 【セイフティシステムズ事業】

売上高は128億6千7百万円と前年同一期間に比べ27億2千5百万円（26.9%）増加しました。

国内市場ではエコカー補助金終了による需要減が当第1四半期にあったものの、当第2四半期は需要が回復しました。

また北米での自動車販売の回復による需要拡大や、新興国での自動車安全部品への需要拡大などによりエアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーター、スクイブともに前年同一期間を上回りました。

セグメント利益は25億2百万円となり、前年同一期間に比べ9億7千3百万円（63.7%）増加しました。

#### 【その他】

売上高は30億9千5百万円と前年同一期間に比べ5億3千8百万円（14.8%）減少しました。

アグロ事業は、国内は前年同一期間を下回り、輸出は前年同一期間を上回りました。全体では前年同一期間を下回りました。

不動産事業は、前年同一期間を下回りました。

セグメント利益は5億8千7百万円となり、前年同一期間に比べ6千9百万円（13.5%）増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,318億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億1千3百万円増加しました。主な増加は有形固定資産44億9千4百万円、有価証券29億9千6百万円、投資有価証券26億3千9百万円、たな卸資産10億6千8百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金42億8千5百万円であります。

負債は616億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億5百万円減少しました。主な減少は支払手形及び買掛金25億2千1百万円、長期借入金23億5千6百万円であり、主な増加は未払法人税等12億1千9百万円、未払金(流動負債その他を含む)8億6千8百万円であります。

純資産は1,701億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ97億1千8百万円増加しました。主な増加は四半期純利益84億1千3百万円、為替換算調整勘定13億4千8百万円、その他有価証券評価差額金11億2千3百万円であり、主な減少は配当金18億1千2百万円であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、164億5千6百万円の収入となりました。これは主に法人税等の支払額が26億4千4百万円、仕入債務の減少額が29億2千8百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が126億6千6百万円、減価償却費が49億2千7百万円、売上債権の減少額が41億2百万円あったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、94億3千9百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が83億6千1百万円、投資有価証券の取得による支出が9億9千8百万円あったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、49億2千2百万円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が25億1千4百万円、配当金の支払額が18億1千万円あったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ25億9千5百万円増加し、429億3千万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済は米国では引き続き堅調に推移し、欧州では緩やかな回復へ向かい、中国では成長スピードは鈍化するものの安定的な成長が期待されます。国内経済は公共投資の増加や企業の設備投資の持ち直し等により継続的な景気回復が期待されます。当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な収益体質を構築するとともに、環境・省エネルギー関連材料や医薬バイオシミュラーの研究開発の促進など新たな成長市場への展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、平成25年10月29日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	26,120	25,718
受取手形及び売掛金	51,209	46,924
電子記録債権	—	731
有価証券	14,361	17,358
商品及び製品	19,542	20,843
仕掛品	2,072	1,987
原材料及び貯蔵品	7,998	7,851
その他	10,445	10,651
貸倒引当金	△197	△203
流動資産合計	131,553	131,862
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	34,367	34,678
機械装置及び運搬具（純額）	16,689	19,164
その他（純額）	16,126	17,835
有形固定資産合計	67,183	71,678
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,135	889
その他	2,765	2,428
無形固定資産合計	3,901	3,318
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	19,878	22,517
その他	2,070	2,308
貸倒引当金	△22	△20
投資その他の資産合計	21,926	24,806
固定資産合計	93,012	99,803
繰延資産	139	152
資産合計	224,705	231,818

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,108	12,586
短期借入金	6,683	6,637
未払法人税等	2,378	3,598
その他	15,687	16,737
流動負債合計	39,857	39,559
固定負債		
長期借入金	9,625	7,268
退職給付引当金	951	511
負ののれん	211	136
その他	13,605	14,169
固定負債合計	24,394	22,086
負債合計	64,251	61,645
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,265	17,265
利益剰余金	115,205	121,818
自己株式	△851	△876
株主資本合計	146,552	153,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,343	4,466
為替換算調整勘定	341	1,690
その他の包括利益累計額合計	3,685	6,157
少数株主持分	10,216	10,875
純資産合計	160,454	170,172
負債純資産合計	224,705	231,818



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	73,274	77,988
売上原価	41,695	43,302
売上総利益	31,579	34,685
販売費及び一般管理費	20,828	22,803
営業利益	10,751	11,881
営業外収益		
受取利息	32	22
受取配当金	431	221
負ののれん償却額	76	74
持分法による投資利益	206	268
為替差益	—	421
その他	605	470
営業外収益合計	1,351	1,479
営業外費用		
支払利息	108	103
為替差損	26	—
その他	249	278
営業外費用合計	384	381
経常利益	11,718	12,979
特別利益		
固定資産売却益	1	96
特別利益合計	1	96
特別損失		
固定資産処分損	198	345
減損損失	—	63
投資有価証券評価損	5	0
特別損失合計	203	409
税金等調整前四半期純利益	11,517	12,666
法人税、住民税及び事業税	3,584	3,795
法人税等調整額	177	△215
法人税等合計	3,761	3,579
少数株主損益調整前四半期純利益	7,755	9,087
少数株主利益	606	673
四半期純利益	7,149	8,413

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,755	9,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	972	1,119
為替換算調整勘定	△1,518	1,547
持分法適用会社に対する持分相当額	0	3
その他の包括利益合計	△546	2,670
四半期包括利益	7,208	11,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,756	10,885
少数株主に係る四半期包括利益	452	872

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

日本化薬㈱ (4272) 平成26年3月期 第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,517	12,666
減価償却費	4,706	4,927
減損損失	—	63
引当金の増減額(△は減少)	△670	△567
受取利息及び受取配当金	△463	△244
支払利息	108	103
持分法による投資損益(△は益)	△206	△268
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	△1
有形固定資産処分損益(△は益)	198	345
無形固定資産売却損益(△は益)	—	△94
投資有価証券評価損益(△は益)	5	0
売上債権の増減額(△は増加)	△519	4,102
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,729	△708
前払費用の増減額(△は増加)	△130	△145
未収入金の増減額(△は増加)	565	461
前渡金の増減額(△は増加)	131	4
仕入債務の増減額(△は減少)	41	△2,928
未払金の増減額(△は減少)	△372	967
未払費用の増減額(△は減少)	△29	311
その他	435	△391
小計	13,585	18,603
利息及び配当金の受取額	500	503
利息の支払額	△109	△112
法人税等の支払額	△5,195	△2,644
法人税等の還付額	6	107
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,787	16,456
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△25	△8
定期預金の払戻による収入	6	17
有形固定資産の取得による支出	△4,753	△8,361
有形固定資産の売却による収入	5	202
無形固定資産の取得による支出	△91	△143
無形固定資産の売却による収入	—	246
有価証券の取得による支出	△2,012	—
投資有価証券の取得による支出	—	△998
長期貸付けによる支出	△0	—
長期前払費用の取得による支出	△67	△61
固定資産撤去に伴う支出	△338	△268
その他	47	△64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,229	△9,439

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250	△350
長期借入れによる収入	—	350
長期借入金の返済による支出	△2,528	△2,514
建設協力金の返済による支出	△374	△374
配当金の支払額	△1,806	△1,810
少数株主への配当金の支払額	△140	△168
その他	△40	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,639	△4,922
現金及び現金同等物に係る換算差額	△443	500
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,524	2,595
現金及び現金同等物の期首残高	37,874	40,334
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	196	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,547	42,930

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフテ ィシステ ムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,531	24,879	9,962	69,373	3,901	73,274	—	73,274
セグメント間の内部売上 高又は振替高	69	0	—	69	40	110	△110	—
計	34,601	24,879	9,962	69,443	3,941	73,385	△110	73,274
セグメント利益	6,051	5,470	1,488	13,010	605	13,615	△2,864	10,751

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,864百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,874百万円、セグメント間取引消去9百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフテ ィシステ ムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,864	25,159	12,867	74,892	3,095	77,988	—	77,988
セグメント間の内部売上 高又は振替高	55	—	—	55	52	107	△107	—
計	36,920	25,159	12,867	74,947	3,147	78,095	△107	77,988
セグメント利益	6,382	5,275	2,502	14,160	587	14,748	△2,866	11,881

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,866百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,877百万円、セグメント間取引消去11百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。